



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	75,089	10.0	2,305	176.2	2,458	154.9	1,400	288.2
2020年3月期	68,254	6.0	834	2.6	964	3.0	360	2.2

(注) 包括利益 2021年3月期 1,597百万円 (323.3%) 2020年3月期 377百万円 (296.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	140.29	—	9.5	7.8	3.1
2020年3月期	36.13	—	2.6	3.2	1.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	32,617	15,468	47.4	1,549.42
2020年3月期	30,762	14,020	45.6	1,404.40

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,468百万円 2020年3月期 14,020百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,368	△1,182	△1,093	2,872
2020年3月期	2,481	△777	△1,147	1,780

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00	149	41.5	1.1
2021年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00	199	14.3	1.4
2022年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00		15.0	

(注) 2021年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 特別配当 5円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,700	△4.9	800	△44.3	850	△44.0	570	△41.5	57.09
通期	66,000	△2.4	1,700	△26.3	1,800	△26.8	1,000	△28.6	100.16

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

なお、この変更により、売上高は約74億円減少する見込みであります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	10,540,200株	2020年3月期	10,540,200株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	556,818株	2020年3月期	556,747株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	9,983,409株	2020年3月期	9,983,465株
----------	------------	----------	------------

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	74,985	10.0	2,154	198.6	2,326	176.7	1,326	374.8
2020年3月期	68,156	6.0	721	5.6	840	5.8	279	5.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	132.83	—
2020年3月期	27.97	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	31,942		15,038		47.1	1,506.33		
2020年3月期	30,176		13,718		45.5	1,374.13		

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,038百万円 2020年3月期 13,718百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大による急激な経済活動の縮小から、5月の緊急事態宣言解除後は緩やかな回復傾向にありましたが、感染拡大の第2波、第3波により個人消費の回復は足踏み状態が続きました。年明け早々には、指定区域に対して緊急事態宣言が再発令されるなど、新型コロナウイルスの感染収束の兆しが見えず、依然として先行きの不透明な状況となっております。

当小売業界におきましては、ウィズコロナ時代の生活様式の変化による内食志向の高まりや、消毒・衛生用品等の感染対策商品の需要増加があったこと等によって足許の業況は良好に推移しているものの、消費者の将来不安に対する「生活防衛志向」、同業態・異業態をはじめEコマースも含めた「競争の激化」、現在も進みつつある「人口減少・高齢化」に伴う「可処分所得の減少」、人手不足や最低賃金の上昇による「人件費の高騰」等、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様と従業員の安全・安心を第一に考え、各種感染防止策を徹底しながら、お客様の毎日の生活を支えるライフステーションとして店舗営業を継続してまいりました。

当社グループは、当連結会計年度より経営改革プロジェクト『MAP3』(Makiya-group Advancing Profit3)を実施し、各経営改革目標数値として、①値引き・廃棄の「ロス額」の削減、②プライベートブランド・ファーストチョイスの販売強化による「値入率」の改善、③バックルーム運用ルール・作業改善等による「生産性」の改善を柱に推進いたしました。特に「ロス額」の削減により当連結会計年度の売上総利益率は、前連結会計年度より0.36%改善いたしました。

また、当社グループの「営業力」の6項目(品揃え・品質・価格・売り方・サービス・マネジメント)の磨き上げを継続して実施しており、「重点販売商品」の販売強化や、「ご推奨POP」の充実などの様々な取り組みにより、お客様の「毎日の生活」に役立つ商品を、「安心の低価格」と「温かいサービス」でご提供できる様に全力で取り組んでまいりました。

前連結会計年度に導入したマキヤポイントカードに電子マネー機能を組み入れた「マキヤプリカ」につきましては、毎月5の付く日(5日、15日、25日)の「ボーナスチャージデー」や、定期的を実施する「特別チャージ・プレゼント企画」など、様々なキャンペーン企画により利用促進を図るとともに、総務省が実施するマイナポイント事業への参画もいたしました。

さらには、ストアスキャン方式による「バーコード決済」を導入し、各社ペイメントのキャンペーン企画にも積極的に参加いたしました。

当連結会計年度の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	業務スーパー函南店 (静岡県田方郡函南町)	2020年9月	新規開店
開 店	ハードオフ・オフハウス沼津 原町店(静岡県沼津市)	2020年10月	新規開店
開 店	業務スーパー裾野店 (静岡県裾野市)	2020年12月	新規開店
開 店	業務スーパー南アルプス店 (山梨県南アルプス市)	2021年2月	新規開店
改 装	ポテト野中店 (静岡県富士宮市)	2020年10月	売場最新化
改 装	ポテト城山店 (静岡県富士宮市)	2020年12月	売場最新化

以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業収益は75,764百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は2,305百万円(前年同期比176.2%増)、経常利益は2,458百万円(前年同期比154.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,400百万円(前年同期比288.2%増)で増収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は75,327百万円(前年同期比10.0%増)となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう、「巣ごもり」・「感染対策」需要等の高まりにより、「フード(食品)」部門・「ノンフード(非食品)」部門ともに好調に推移し、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

営業利益は2,513百万円(前年同期比140.2%増)となりました。売上高の増加の他に、折込チラシ等の自粛により販売費率が減少したことと、当連結会計年度より全社で取り組んでいる「中長期経営改革プロジェクト『MAP 3』」の各種改善施策の推進により、大幅に増加いたしました。

②不動産賃貸事業

営業収益は436百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は153百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は32,617百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,854百万円増加いたしました。

流動資産は9,493百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,067百万円増加いたしました。これは、手元流動性を高めたことにより現金及び預金が1,092百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は23,123百万円となり、前連結会計年度末と比較して787百万円増加いたしました。これは、IT投資等により無形固定資産が392百万円、有形固定資産が93百万円、投資その他の資産が301百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は17,148百万円となり、前連結会計年度末と比較して406百万円増加いたしました。

流動負債は11,781百万円となり、前連結会計年度末と比較して550百万円増加いたしました。これは、短期借入金397百万円減少したものの、未払法人税等が576百万円、未払金が231百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,367百万円となり、前連結会計年度末と比較して143百万円減少いたしました。これは、長期借入金99百万円、リース債務が31百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は15,468百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,447百万円増加いたしました。これは、利益剰余金1,250百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して1,092百万円増加し、2,872百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が426百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が2,234百万円、減価償却費が1,058百万円あったこと等により3,368百万円の収入となり、前連結会計年度より収入が886百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が1,182百万円あったこと等により1,182百万円の支出となり、前連結会計年度より支出が405百万円増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が1,400百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が1,536百万円、短期借入金の減少額が360百万円、リース債務の返済による支出が447百万円、配当金の支払額が149百万円あったこと等により1,093百万円の支出となり、前連結会計年度より支出が54百万円減少いたしました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	46.2	46.2	46.0	45.6	47.4
時価ベースの自己資本比率(%)	21.2	23.9	24.3	22.6	31.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	3.6	4.4	4.3	2.7	1.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	51.7	50.4	59.0	100.8	182.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注) 2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注) 3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの収束時期の見通しや、収束後の景気と消費動向が懸念されるとともに、消費者の「生活防衛志向」や「競争の激化」、「人手不足」など、依然として厳しい経営環境が続くものと予測されます。

また、今後、我が国経済が本格的に直面していく「少子・高齢化」と「人口減少」の経済環境の中では、単なる「低価格」販売だけでなく、消費者(生活者)の「毎日の生活」のために、今後も「より良い商品」を「低価格」でご提供する努力を継続しつつ、新たな『需要創造』につながる『品揃え』の改善と『売り方』の改革に、全力で取り組んで行かなければならないと考えております。

このような環境の中、当社グループは、お客様のより豊かな生活のために、お客様のご期待に応え、お客様に支持され“ファン”になって頂けるお店を目指して、当連結会計年度に編成した経営改革プロジェクト『MAP3』

(Makiya-group Advancing Profit 3)の経営改革目標数値の実現のために、

- ①、「働き方」改革と業務改善
- ②、「品切れ」撲滅・フェイスUP・ボリューム陳列
- ③、品揃え・品質・価格・売り方・サービスの磨き上げ
- ④、「ファーストチョイス」の発見と推奨販売
- ⑤、「ロス額」削減と「原価改善」

を全力で推進し、経営基盤の強化と企業価値の向上を図ってまいります。

翌連結会計年度の業績見通しは、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要増が縮小することと、店舗改装等による一時経費の増加等により、売上高66,000百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益1,700百万円(前年同期比26.3%減)、経常利益1,800百万円(前年同期比26.8%減)、当期純利益1,000百万円(前年同期比28.6%減)を見込んでおります。

なお、翌連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、前年同期比については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。この変更により、売上高は約74億円減少する見込みであります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、将来の事業展望に備え、内部留保による企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持することを基本方針としております。

当期におきましては、経営改革プロジェクト『MAP3』の推進と新型コロナウイルス感染症の拡大による生活様式の変化による内食志向の高まりや、消毒・衛生用品の需要の増加等により、過去最高益を計上して上場30周年を迎えることができました。これらを踏まえ、日頃ご支援いただいている株主の皆様への還元をとおして、新型コロナウイルス感染症収束後の経済回復と活性化に貢献したく、普通配当7円50銭に特別配当5円を加え、期末配当を12円50銭とすることといたしました。

また、次期の配当金といたしましては、当期の普通配当と同額の間配当7円50銭、期末配当7円50銭、併せて年間配当15円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,380	2,872,942
売掛金	1,134,495	1,081,333
商品	5,225,073	5,242,069
その他	286,403	297,505
貸倒引当金	△340	△335
流動資産合計	8,426,012	9,493,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,474,601	25,937,543
減価償却累計額	△16,510,362	△17,060,833
建物及び構築物(純額)	8,964,239	8,876,710
機械装置及び運搬具	386,122	398,945
減価償却累計額	△364,277	△369,659
機械装置及び運搬具(純額)	21,845	29,286
工具、器具及び備品	479,171	486,359
減価償却累計額	△434,127	△445,179
工具、器具及び備品(純額)	45,044	41,179
土地	7,573,266	7,554,263
リース資産	2,648,218	2,714,287
減価償却累計額	△1,636,774	△1,648,074
リース資産(純額)	1,011,444	1,066,213
その他	550	142,389
有形固定資産合計	17,616,388	17,710,042
無形固定資産		
リース資産	41,525	25,455
その他	722,060	1,130,521
無形固定資産合計	763,585	1,155,976
投資その他の資産		
投資有価証券	664,150	834,996
繰延税金資産	847,674	853,437
長期貸付金	158	—
敷金及び保証金	2,433,590	2,534,372
その他	10,743	34,661
投資その他の資産合計	3,956,318	4,257,468
固定資産合計	22,336,292	23,123,487
資産合計	30,762,305	32,617,002

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,406,561	5,193,462
短期借入金	2,710,531	2,313,092
リース債務	411,907	415,180
未払金	1,608,137	1,839,881
未払法人税等	248,693	824,930
賞与引当金	162,337	299,045
役員賞与引当金	5,430	4,620
ポイント引当金	73,565	73,090
損害賠償引当金	120,000	120,000
その他	483,842	698,130
流動負債合計	11,231,007	11,781,434
固定負債		
長期借入金	2,787,907	2,688,406
リース債務	834,505	802,726
退職給付に係る負債	794,302	786,717
役員退職慰労引当金	86,530	98,990
資産除去債務	579,950	594,450
その他	427,313	395,761
固定負債合計	5,510,510	5,367,051
負債合計	16,741,517	17,148,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	12,173,685	13,424,572
自己株式	△446,204	△446,285
株主資本合計	14,009,428	15,260,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,823	288,157
退職給付に係る調整累計額	△133,463	△79,874
その他の包括利益累計額合計	11,359	208,282
純資産合計	14,020,788	15,468,515
負債純資産合計	30,762,305	32,617,002

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	68,254,522	75,089,759
売上原価	53,813,688	58,932,631
売上総利益	14,440,833	16,157,127
営業収入		
不動産賃貸収入	668,477	674,335
営業総利益	15,109,311	16,831,463
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	644,205	518,533
給料及び手当	4,745,246	4,747,784
賞与引当金繰入額	163,304	301,287
退職給付費用	138,961	151,802
役員退職慰労引当金繰入額	12,460	12,460
水道光熱費	1,014,277	914,477
不動産賃借料	2,016,690	2,005,218
その他	5,539,293	5,874,257
販売費及び一般管理費合計	14,274,437	14,525,820
営業利益	834,873	2,305,642
営業外収益		
受取利息	24	19
受取配当金	11,284	12,779
受取手数料	68,945	73,387
仕入割引	6,337	5,437
リサイクル収入	47,627	35,863
設備投資支援金	—	32,363
その他	43,489	39,521
営業外収益合計	177,708	199,372
営業外費用		
支払利息	24,218	18,475
株主優待費用	13,628	15,293
その他	10,312	12,634
営業外費用合計	48,160	46,403
経常利益	964,422	2,458,610
特別利益		
受取保険金	4,276	—
特別利益合計	4,276	—
特別損失		
減損損失	356,798	74,285
店舗閉鎖損失	6,849	—
災害による損失	9,518	—
固定資産売却損	1,510	—
和解金	—	150,000
特別損失合計	374,677	224,285
税金等調整前当期純利益	594,021	2,234,325
法人税、住民税及び事業税	331,713	923,284
法人税等調整額	△98,491	△89,596
法人税等合計	233,222	833,687
当期純利益	360,798	1,400,637
親会社株主に帰属する当期純利益	360,798	1,400,637

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	360,798	1,400,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,044	143,333
退職給付に係る調整額	8,518	53,589
その他の包括利益合計	16,563	196,922
包括利益	377,362	1,597,560
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	377,362	1,597,560
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,198,310	1,083,637	11,962,638	△446,185	13,798,400
当期変動額					
剰余金の配当			△149,751		△149,751
親会社株主に帰属する当期純利益			360,798		360,798
自己株式の取得				△18	△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	211,047	△18	211,028
当期末残高	1,198,310	1,083,637	12,173,685	△446,204	14,009,428

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	136,778	△141,982	△5,203	13,793,196
当期変動額				
剰余金の配当				△149,751
親会社株主に帰属する当期純利益				360,798
自己株式の取得				△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,044	8,518	16,563	16,563
当期変動額合計	8,044	8,518	16,563	227,591
当期末残高	144,823	△133,463	11,359	14,020,788

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,198,310	1,083,637	12,173,685	△446,204	14,009,428
当期変動額					
剰余金の配当			△149,751		△149,751
親会社株主に帰属する当期純利益			1,400,637		1,400,637
自己株式の取得				△81	△81
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,250,886	△81	1,250,804
当期末残高	1,198,310	1,083,637	13,424,572	△446,285	15,260,233

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	144,823	△133,463	11,359	14,020,788
当期変動額				
剰余金の配当				△149,751
親会社株主に帰属する当期純利益				1,400,637
自己株式の取得				△81
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	143,333	53,589	196,922	196,922
当期変動額合計	143,333	53,589	196,922	1,447,727
当期末残高	288,157	△79,874	208,282	15,468,515

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	594,021	2,234,325
減価償却費	1,051,843	1,058,362
減損損失	356,798	74,285
店舗閉鎖損失	6,849	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△440	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	47,232	136,708
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,217	△810
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△5,192	△475
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34,049	68,817
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,360	12,460
受取利息及び受取配当金	△11,309	△12,799
受取保険金	△4,276	—
支払利息	24,218	18,475
固定資産売却損	1,510	—
売上債権の増減額(△は増加)	△421,189	53,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	294,946	△9,354
仕入債務の増減額(△は減少)	607,033	△213,098
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,596	159,419
その他	150,863	221,359
小計	2,767,134	3,800,831
利息及び配当金の受取額	11,309	12,799
保険金の受取額	4,276	—
利息の支払額	△24,622	△18,489
法人税等の支払額	△276,261	△426,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,481,835	3,368,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△738,956	△1,182,039
貸付金の回収による収入	161	167
投資有価証券の売却による収入	—	33,630
敷金及び保証金の差入による支出	△54,710	△39,917
敷金及び保証金の回収による収入	3,629	5,000
その他	12,584	811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△777,290	△1,182,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△280,000	△360,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,636,431	△1,536,939
自己株式の取得による支出	△18	△81
リース債務の返済による支出	△481,531	△447,017
配当金の支払額	△149,650	△149,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,147,632	△1,093,534
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556,911	1,092,561
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,468	1,780,380
現金及び現金同等物の期末残高	1,780,380	2,872,942

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、食品、家庭用品、DIY用品等の一般消費財の仕入販売及びこれらの付随業務を行っており、事業部を基礎とした複数事業セグメントから構成されていますが、経済的特徴及び商品・サービス等の要素が概ね類似する「小売業」と所有不動産等の賃貸事業を行っている「不動産賃貸事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2・3	連結財務諸表計 上額(注) 4
	小売業	不動産賃貸事業	計		
営業収益(注) 1					
外部顧客への営業収益	68,500,601	422,398	68,923,000	—	68,923,000
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	68,500,601	422,398	68,923,000	—	68,923,000
セグメント利益	1,046,157	161,529	1,207,687	△372,813	834,873
セグメント資産	27,087,496	2,160,065	29,247,561	1,514,743	30,762,305
その他の項目					
減価償却費	965,497	21,165	986,662	65,181	1,051,843
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,166,667	2,816	1,169,483	213,057	1,382,541

- (注) 1. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計金額であります。なお、連結損益計算書の不動産賃貸収入のうち、当社店舗の敷地内で営業するテナント等の収入については、「小売業」セグメントに含めております。
2. セグメント利益の調整額は、その全額が全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額は、その全額が全社資産であります。全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)2・3	連結財務諸表計 上額(注)4
	小売業	不動産賃貸事業	計		
営業収益(注)1					
外部顧客への営業収益	75,327,315	436,778	75,764,094	—	75,764,094
セグメント間の内部営業収 益又は振替高	—	—	—	—	—
計	75,327,315	436,778	75,764,094	—	75,764,094
セグメント利益	2,513,197	153,019	2,666,217	△360,575	2,305,642
セグメント資産	28,944,642	2,130,321	31,074,963	1,542,038	32,617,002
その他の項目					
減価償却費	953,701	20,123	973,825	84,536	1,058,362
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	574,296	—	574,296	666,398	1,240,695

- (注) 1. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計金額であります。なお、連結損益計算書の不動産賃貸収入のうち、当社店舗の敷地内で営業するテナント等の収入については、「小売業」セグメントに含めております。
2. セグメント利益の調整額は、その全額が全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額は、その全額が全社資産であります。全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	小売業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	356,798	—	356,798	—	356,798

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	小売業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	74,285	—	74,285	—	74,285

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,404円40銭	1,549円42銭
1株当たり当期純利益	36円13銭	140円29銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	360,798	1,400,637
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	360,798	1,400,637
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,983	9,983

(注) 3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	14,020,788	15,468,515
普通株式に係る純資産額(千円)	14,020,788	15,468,515
普通株式の発行済株式数(千株)	10,540	10,540
普通株式の自己株式数(千株)	556	556
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	9,983	9,983

(重要な後発事象)

該当事項はありません。